

農業工学専修実験 (2単位)

担当者氏名 全専攻教員

◆学習・教育目標

修士論文を作成するためには、室内実験、現場実験等を実施し、要求される精度の下でデータを取得するとともに、取得データを適切に処理しなければならない。本科目は、必要に応じて実施される専修毎の実験の計画、実施、解析を通して、論理的思考能力、コミュニケーション能力などの能力向上を図ることを教育の目標とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

地域資源利用 農地環境工学 環境情報学 地水工学
建設システム工学 水利施設工学 農業ロボット工学 農産プロセス工学

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	既往文献による実験方法の抽出(第1～第3週)	研究テーマに即したキーワードによる文献検索および文献通読による実験方法の確認	修士論文の研究方向を指導教員と相談し、設定しておくこと。
2	既往文献による実験データ処理方法の抽出(第4～第6週)	文献通読によるデータ処理方法の確認および文献データを用いた処理方法の確認	
3	実験手順の確認および実験計画の立案(第7～第8週)	テキストおよび参考書による実験手順の確認および試料採取を視野に入れた実験計画の立案	
4	予備実験による取得データの確認(第9週)	テキストおよび参考書を確認しながらの予備実験の実施および実施上の問題点の抽出	
5	実験計画に基づく実験の実施(第10～第13週)	第7～第8週で立案した実験計画に基づく実験の実施および実施上の問題点の抽出	
6	実験データの解析(第14～第15週)	第4～第6週で抽出したデータ処理方法に基づく実験データの解析およびエラーの検討	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

授業初めに担当教員から指示がある。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

授業初めに担当教員から指示がある。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポートにより評価する

◆その他受講上の注意事項

本科目は、定期的の開講するよりも集中的に行うことで学習効果が向上するものであるため、履修にあたっては指導教員と十分に相談し、授業計画を決定すること。